

## 206 学術演説会

『法学新報』第十五卷十三(一八〇)号

明治三十八年十二月一日

○学術演説会 十一月十二日午後五時より中央大学新築講堂  
 に於て学術演説会を開く弁士及び演題下の如し石山彌平氏(矛  
 盾の説) 卜部喜太郎氏(精神の修養) 高窪喜八郎氏(所感) 新  
 井要太郎氏(不思議なる法) 川島仔司氏(法律家の価値) 高野  
 金重氏(我大学の学風) 藤江奎太氏(人間と禽獸) 横田千之助  
 氏(法律学を修むるの方法) 花井卓藏氏(ポーツマスと国際法)  
 元田肇氏(品性論)